

## 在宅医療・介護多職種連携協議会

# 研修部会

～報告～

### 部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）について検討

日時：令和5年7月10日（月） 参加者：研修部会員・ファシリテーター 24名

【テーマ】 **神経難病と意思決定支援**

【内 容】 ①全体会議当日を想定したグループワーク

（神経難病の事例を用い、意思決定支援も含めた必要な支援を検討）

②当日に向けた検討

### <参加者からのご意見・グループワークの様子>

- 事例：サービスがまだ入っていない状態の事例を取り上げているが、訪問診療と訪問看護が入っている方が、多職種での意見交換がしやすいのではないかと
- 時間配分：グループワークの時間が十分だったという意見と、まとめや発表の準備を含めると短かったという意見があった
- 参集での開催が久しぶりであったため、意見交換が盛り上がるまで少し時間がかかった本番では、KJ法でのグループワークの方法を説明すると良いのではないかと



ご意見と、グループワークでの様子を踏まえて、当日に向けて、事例や時間配分等を調整しました。

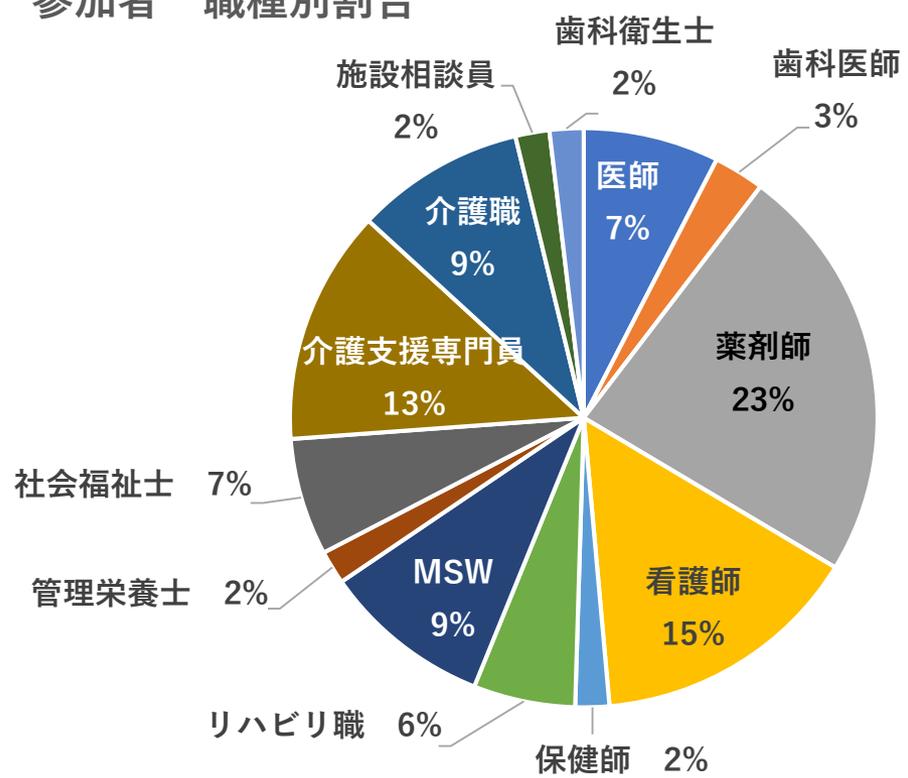
○テーマ 『**神経難病と意思決定支援**』

神経難病の事例を用い、意思決定支援も含めた必要な支援についてグループワークを実施

○日時 令和5年7月27日（木）19時～21時

○規模 **107名** 1グループ7～8名×15グループ

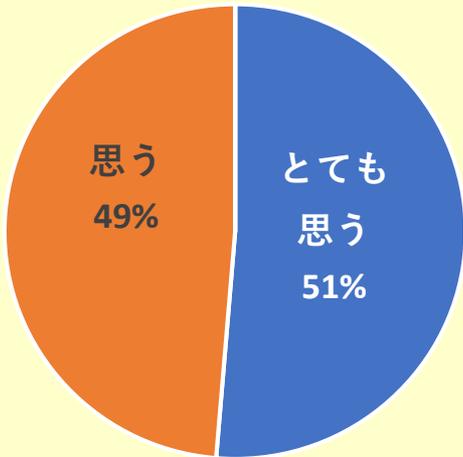
参加者 職種別割合



# アンケート結果①

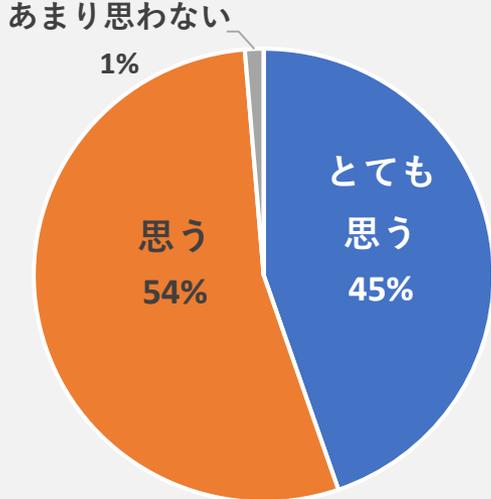
会議の参加により、今後も  
他事業所の多職種と連携できそうですか

N=76



多職種への理解が深まりましたか

N=76



# アンケート結果②

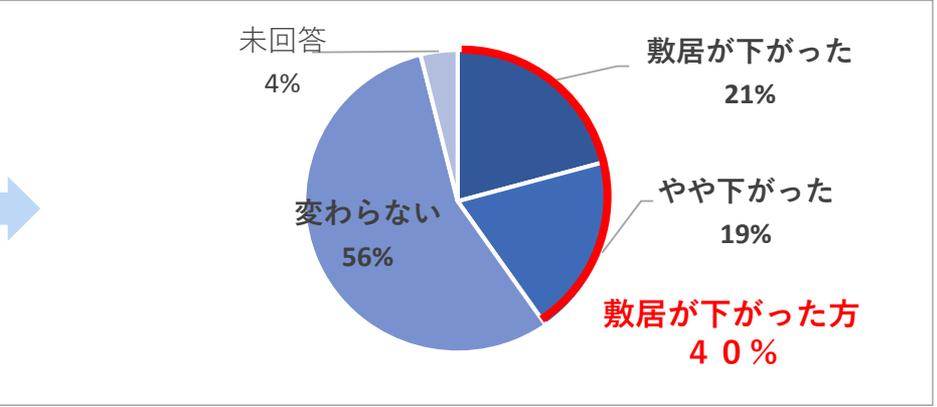
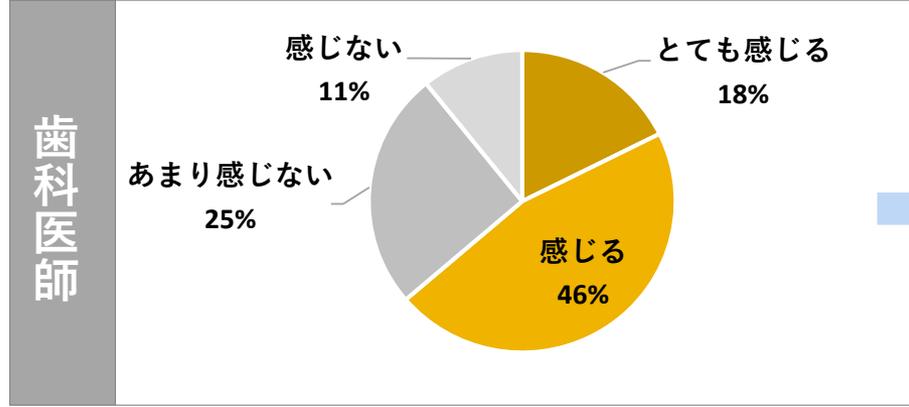
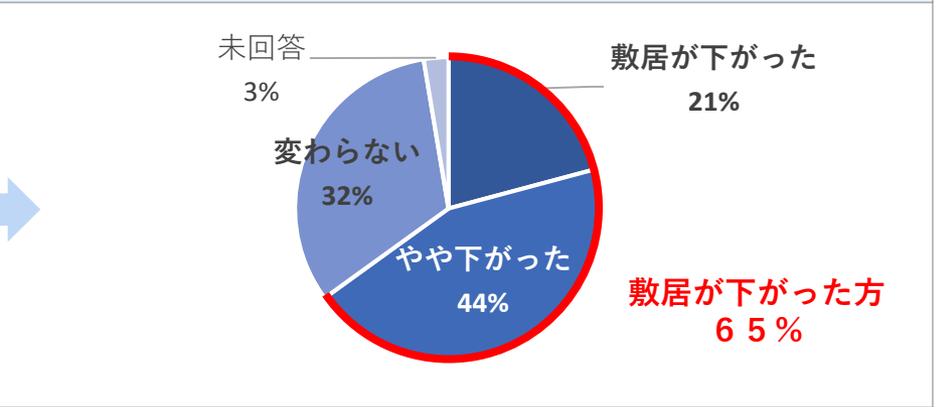
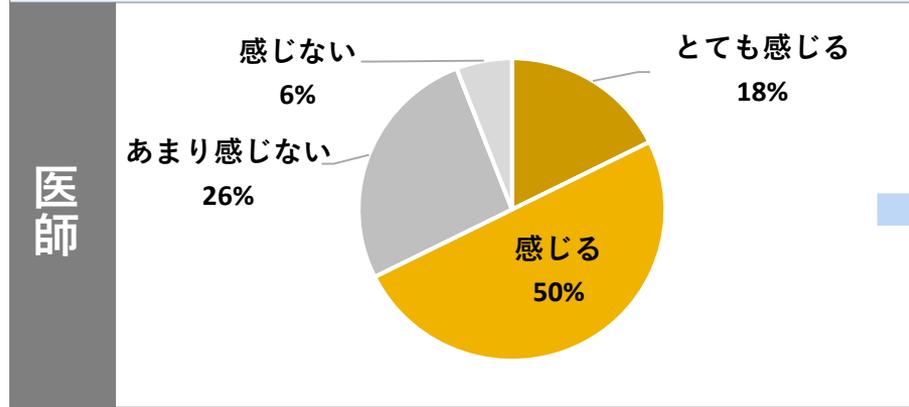
9職種に対する敷居の感じ方についてアンケートを実施

↳ 医師・歯科医師・薬剤師・看護職・ケアマネジャー・リハビリ職・栄養士・介護職・病院等の相談員

以下、参加前アンケートにて、敷居を“とても感じる”“感じる”と回答が多かった**2職種を抜粋**

**(参加前) それぞれの職種に対し、敷居を感じますか。**  
N=102

**(参加後) 会議に参加したことで、以下の職種に対する敷居について、変化がありましたか**  
※参加前に敷居を「感じない・あまり感じない」と回答した方も含む  
N=76

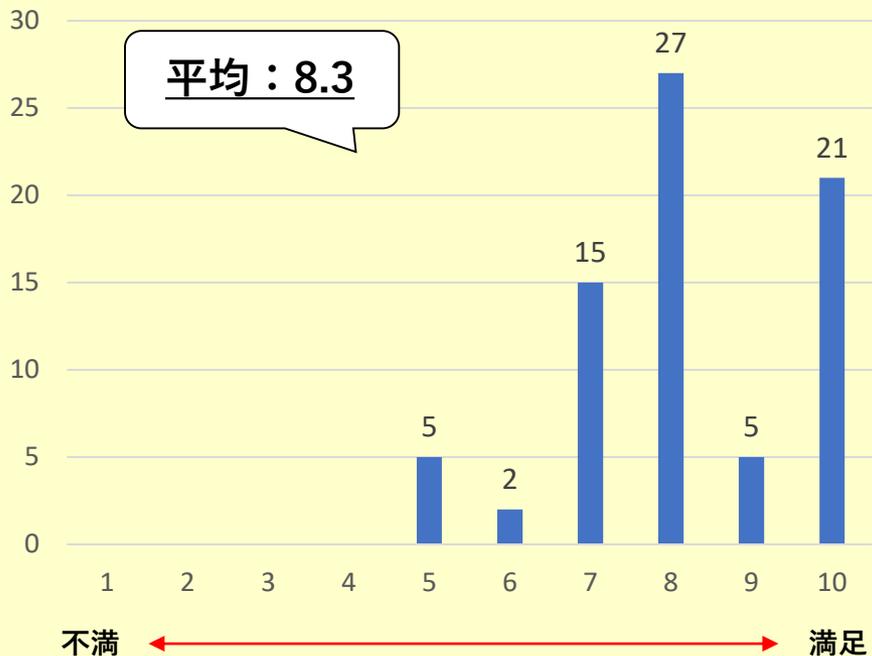


# アンケート結果③

## 会議の満足度は総合的に見て何点でしたか

N=76

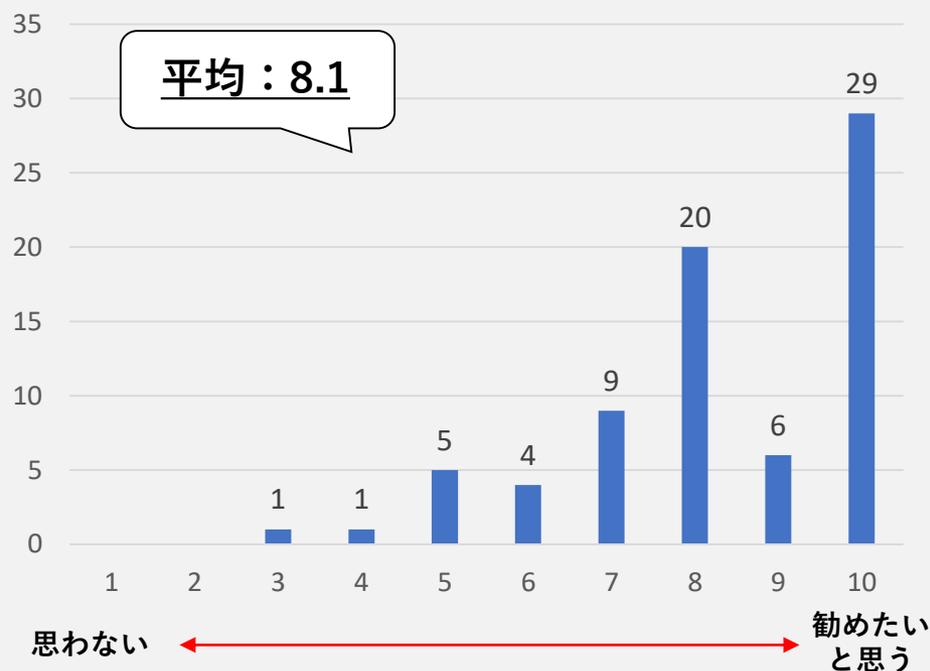
平均：8.3



## 本会議への参加を同僚等に勧めたいと思いますか

N=76

平均：8.1



## その他、顔会議へのご意見

- 直接会って話せたため、相手の空気感や熱量を感じる事が出来て良かった。オンラインの利点もあるのでうまく使い分けてほしい。
- 多職種との連携を苦手と感じている介護職の方は絶対に一度は参加した方が良いと思う。
- 参加したことで、今後医療連携を図るうえでの不安が減った。
- 出席経験のある方が多かった。初参加の方を増やすことも必要。
- ミニレクチャーがわかりやすく、勉強になった。

# 今後の予定

## ■顔の見える関係会議

### 圏域会議 (参集)

- 北部：令和5年11月22日（水） 19時～（柏地域医療連携センター 研修室）
- 中央：令和5年11月29日（水） 19時～（柏地域医療連携センター 研修室）
- 南部：令和5年11月17日（金） 19時～（沼南庁舎5階 大会議室）
- 東部：令和5年11月10日（金） 19時～（沼南庁舎5階 大会議室）

### アドバンス ファシリテーター会議 (オンライン予定)

令和6年 1月15日（月） 19時～

### アドバンス会議 (オンライン予定)

令和6年 2月 2日（金） 19時～

## ■第2回 研修部会

令和6年 2月16日（金） 19時～